

## 多摩市子ども・若者ワークショップ実施報告書



多 摩 市

令和 4 年 8 月

## Ⅰ. 概要

### Ⅰ.Ⅰ 開催の目的

令和４年４月に施行した「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」を踏まえ、まちづくりの主役である子ども・若者のみなさんから今後の子ども・若者施策の具現化に向けた意見を伺うため、子ども・若者ワークショップを令和４年７月２３日に開催しました。

### Ⅰ.Ⅱ 開催概要

日時：令和４年７月２３日（土曜日）

・子どもの部 １３：００～１５：００

・若者の部 １６：００～１８：００

場所：パルテノン多摩 第１会議室（保育室 第２会議室）

運営：多摩市児童青少年課、合同会社 MichiLab（多摩市若者会議）

参加者：公募市民（無作為抽出（１６～３９歳 ２,０００人）、市HP等での公募）

・子どもの部 当日参加者 １２名（申込者 １５名）

小学生世代（小学５年生以上）：	４名
中学生世代：	８名

・若者の部 当日参加者 １８名（申込者 ２７名）

※保育利用者なし





高校生世代：	４名
大学生世代：	４名
２３歳から２９歳まで：	５名
３０歳から３９歳まで：	５名

計 ３０名

### 1.3 プログラム内容(子どもの部、若者の部共通)

1. 開会
2. 市挨拶
3. 条例の説明
4. アイスブレイク
5. グループワーク
6. 発表
7. 市長挨拶
8. 閉会

### 1.4 ワークショップの流れ

<p>①アイスブレイク</p> <p>子どもの部では「タマシイの色あてゲーム(好きな色やモノについて当てる)」、若者の部では「ここが多摩市のNo.1」をテーマに簡単なゲームを実施しました。</p>	
<p>②テーブルに置かれた模造紙に意見を記入</p> <p>グループワークは、子どもの部・若者の部それぞれ2つのテーマについて検討しました。参加者が考える意見を模造紙や付箋、A3用紙に書き込みました。</p>	
<p>③グループ内で意見交換</p> <p>参加者同士で意見交換を行い、各テーブルのファシリテーター(多摩市若者会議)が、参加者の意見をまとめていきました。</p>	
<p>④発表</p> <p>グループごとに、どのような意見が出たかを発表し、全体共有を行いました。</p>	

## 2.結果

### 2.1 子どもの部のテーマと主な意見

#### 【テーマ】

##### 1 私たちの「子どもの権利」って守られてる？

生きる権利、育つ権利、守られる権利、必要な支援を受ける権利、意見を伝える・まちづくりに参加する権利、挑戦・チャレンジする権利があるが、

①権利は守られているか

②どんな時に守られてると感じて、どんな時に守られていないと感じるか

##### 2 子ども・若者を応援するための取組を考えてみよう！

①条例をみんなに広める取組み

★どんな資料、どんな方法で

②子どもの悩みを相談する取組み

★こんな悩みを相談したい、こんな場所で相談したい、こんな人に相談したい

③まちづくりに参加する取組み

★こんな活動に参加したい、こんな方法で市や大人に意見を伝えたい

#### 【主な意見】

##### ○子どもの権利について

###### 「守られている」という意見

- ・子どもの権利が守られていないと感じたことがない
- ・子どもが遊べる環境がある
- ・学校にいるとき、不審者が入ってこない安心・安全な環境が整っている。避難訓練もしている。
- ・いじめを受けて学校に行けてない不登校の子が加害者側と距離を離してもらっていることが守られていると感じる
- ・祖母が好きなものを買ってくれる

###### 「守られていない」という意見

- ・学級委員会で意見が否定される
- ・親に意見を言っても否定される
- ・なぜ校則があるのか。意見があっても言えない。
- ・夏休みの宿題が多い
- ・制服について、スカート(リボン)は女性でズボン(ネクタイ)が男性は差別ではないか
- ・個性のないブラック校則(ヘアゴム、2ブロック、靴下、スカートの長さ)
- ・学校で行動を強制されたことがある

#### ○条例をみんなに広める取組み

- ・生徒会経由で学校に PR してもらう
- ・児童館で PR 動画を流す（大人向けの動画もつくり、子どもだけでなく、大人にも見てもらう）
- ・家のポストに手紙を入れる
- ・ポスターを目立つところに貼る
- ・マンションの掲示板に貼る
- ・たま広報に掲載するなら内容よりも回数を多く出す

#### ○子どもの悩みを相談する取組み

- ・親、先生、信頼できる友達、気軽に話せる人、普段の日常会話ができる位の人になら相談できる
- ・初対面の人とは話しづらいので、身近な人を増やしていく取り組みをする。地域との交流を増やす。
- ・（一人では行きづらいので）友達とカウンセリングに行く
- ・普段からカウンセリングの活用を勧める
- ・相談をインターネットでできるようにしてほしい（おすすめ欄に相談窓口を表示させて、同じ体験をした人や対等な立場の人と話せるようなサイトがあると良い）
- ・児童館など身近な場所に相談できる場所をつくってほしい
- ・相談内容ごとに相談先の選択肢は多い方がよい

#### ○まちづくりに参加する取組み

- ・身近な大人に意見を伝える。（知らない人よりも親や先生に伝える。知らない人であれば、大きな権利を持っていない人（偉くない人）が相談しやすい。）
- ・直接市に発言しなくても、身近な大人に伝えて、それが市に伝わる環境をつくる
- ・意見箱があるといい
- ・直接参加して発言できる場
- ・夏祭りや落ち葉拾い等、自治会でやっている行事に参加する

## 2.2 若者の部のテーマと主な意見

### 【テーマ】

#### 1 子ども・若者を支援し、挑戦や活躍を応援するために

子ども・若者が抱える課題と現状を踏まえて…

- ・こんな取組み、制度が多摩市にあったらいい！
- ・自分ならこんなことができそう！やってみたい！

#### 2 若者がまちづくりに参加したくなる・しやすくなるアイデア

- ・アンケート？モニター？ワークショップ？
- ・定期的な会議に参加？検討委員会等への参加？
- ・地域活動への参加？事業提案制度？

### 【主な意見】

#### ○こんな取組み、制度が多摩市にあったらいい！

- ・学習支援（語学や習い事などを学ぶための支援、留学支援、経済的困窮世帯向けの学習支援、市内に自習スペースを確保してほしい、留学生への資格取得支援制度）
- ・居場所支援（子ども食堂、若者が自宅以外に自由に過ごせる居場所、24 時間開いている居場所）
- ・コンサルタント支援（駅や学校に相談員を配置して気軽に意見を言える又は自分にあった助言をしてくれるような支援、市と市民の間に中間団体がほしい）
- ・キャリア支援
- ・育児支援（子どもも保護者も悩みを一人で抱えないような支援）
- ・環境整備（段差の解消、バスのアクセス増、乗り物支援、駅までの不便さを解消してほしい）
- ・体験学習支援
- ・スポーツ支援
- ・市議会議員に 20 代議員枠を設ける（若者がいないイメージ）
- ・都市農業の推進（市内の団地の老朽化や空き家の場所を活用）
- ・（不登校・ひきこもりの課題に対しての取組として）おいしい給食の供給など
- ・イベントをより多く開催してほしい
- ・動物と触れ合うなどで癒す支援

#### ○自分ならこんなことができそう！やってみたい！

- ・無料塾（中学生が小学生に教える）

### ○どのようなイベントに参加したいか・どのようなイベントなら参加してもらえるか

- ・具体的に以下のようなイベントに参加したい

MARVELを語る会、本をつかったワークショップ、歩道橋をみんなでめぐる、たきび、電動レンタサイクル、レンタルバイク、ツーリング会、芝生で映画、小型モビリティの導入、1万人のワールドカフェ、キャンプ・グランピング、和菓子屋、音楽フェス、お祭り、イベント、キャンプ、登山、川沿いでサウナ、一眼レフを使って山頂コンクール、スポーツ大会、  
KAOFES(市内で過去に開催されていた子ども向けイベント)

- ・和紙や日本酒の瓶の再利用でランタンフェスをパルテノン多摩の階段や橋の上で開催
- ・みんなにお茶をふるまう
- ・初対面の方が幅広く話せる(知っている人だと気を遣う、話が偏る)
- ・対面形式で年齢層が幅広い方がいい

### ○参加方法

- ・少人数の座談会・ワークショップ(会議や委員会ではない形式)
- ・相談員と1対1で話す
- ・小学生・中学生だったら学校でやれば集まりやすい
- ・意見箱
- ・オンライン
- ・インタビュー形式

### ○周知方法

- ・イベントの参加人数を「限定〇人先着」として呼びこむ
- ・SNS(市内の飲食店とコラボ、映えを意識したもの等)
- ・カフェなど若者が集まりそうな場所でPR
- ・電車内に広告を貼る
- ・アニメーションを介してアプローチ
- ・大学の先生からの後押し
- ・たま広報
- ・他イベントで集まった人に声かけ
- ・他大学合同のサークルに声かけ

### ○その他

- ・自由な時間がほしい
- ・多摩市にはもっと市民目線に立ってほしい

## 2.3 総括

### 〈子どもの悩みを相談する取組みについて〉

多くの参加者がスクールカウンセラーの存在を認識しているが、初対面の人に相談することに抵抗を感じるといった意見が多く出されており、親や先生、信頼できる友達、身近な大人（児童館職員や日常会話ができる程度の地域の大人など）であれば相談できるといった意見がありました。子どもの悩みを気軽に相談できるようにスクールカウンセラーを普段から勧めて身近に感じてもらう、または児童館などに新たな相談窓口を設置したほうが良いとの意見がありました。

また、対面ではなく、インターネットで相談できる、もしくは同じ体験をした人と話せる相談サイトがほしいとの意見もありました。

### 〈子ども・若者を支援し、挑戦や活躍を応援するための取組について〉

習い事や留学・語学の勉強、無料塾などの学習支援を望む意見が多く、次いで若者向けの居場所がほしいとの意見や気軽に相談ができ、自分に合った助言をくれる相談員が身近にほしいとの意見が多く出ました。

### 〈条例を広める方法について〉

マンションや電車内のポスター等、目立ちやすい場所に広告を貼るもしくは SNS で情報を拡散するなどの意見の他、生徒会や児童館、大学のサークル、大学の先生を介して周知するなどの意見が多く出ました。

### 〈まちづくりへの参加について〉

子ども・若者どちらからも座談会やワークショップによる対面式や意見箱やオンラインなどの非対面式による意見表明方法が望ましいとの意見が出ました。

また、市に対して直接意見を言うよりも、身近な大人に意見を伝えて、その意見が市に届くような制度を望む意見も多く出ました。



### 3.当日の記録

#### ■子どもの部

グループ		テーマ①「子どもの権利って守られてる？」への意見メモ	テーマ②	テーマ②への意見メモ	テーマ②(発表内容)
1	グループ	権利は守られている	(2)子どもの悩みを相談しやすくする取り組み	地域との交流が大事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初対面の人とは話しづらいので、身近な人を増やしていく取り組みをする。地域との交流を増やす</li> <li>・LINEなど、直接会わないで相談するのも怖い</li> <li>・(相談するなら)相談しやすい雰囲気の人がいい</li> </ul>
		夏休みの宿題が多い		相談するなら親か先生	
				気軽に話せる人、普段の日常会話ができる位の人	
				初対面の人には話しづらい。ラインもちょっと怖い。相談しやすい雰囲気の人。	
2	グループ	守られていないって感じたことがない	(2)子どもの悩みを相談しやすくする取り組み	信頼できる友達に相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とカウンセリングに行く</li> <li>・スマホのおすすめに出して、同じ体験をした人や対等な立場の人と話せるサイトがあると良い</li> <li>・児童館や身近な相談所</li> <li>・相談内容ごとに相談先の選択肢は多い方が良い</li> <li>・普段からカウンセリングの活用を勧めていく</li> </ul>
		子どもが遊べる環境がある		普段からカウンセラーの人と関わり合う	
		学校にいるとき、不審者が入ってこない安心・安全な環境が整っている。避難訓練もしている。		友達とカウンセリングに行く	
		祖母が好きなものを買ってくれる		相談できる場所の選択肢を増やす	
				児童館で相談所をつくる	
				同じ体験をした人や対等な立場の人と話せる場	
3	グループ	いじめを受けて学校に行けてない不登校の子が加害者側と距離を離してもらおう➡守られる権利	(3)子どもがまちづくりに参加する方法	大人に意見を言いやすい環境(否定されない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人に意見を伝える。(知らない人よりも親や先生に伝える。知らない人であれば、大きな権利を持っている人(偉くない人)が相談しやすい。)</li> <li>・意見箱があるといい</li> <li>・直接参加して発言できる場</li> <li>・直接市に発言しなくても、身近な大人に伝えて、それが市に伝わる環境</li> <li>・夏祭りや落ち葉拾い等、自治会でやっている行事に参加する</li> </ul>
		学級委員会で意見が否定される		知らない人よりも仲の良い人や一緒にいる時間が長い人の方が言いやすい。(親、地域の人)	
		親に意見をいうと「ふざけんな」と否定される		意見を言うなら地域のもうちょっと身近な人が良い(自治会の偉くない人だと相談しやすい)	
		なぜ校則があるのか？シャツについて今年から決まりができた。言いたいとも思えない。		意見箱、今日みたいなイベント	
		結構意見を言える		こんなまちづくりに参加した(町内の虫取り、自治会の夏祭り・ハロウィンイベント、自治会旅行、(畳屋で)花飾りづくり、神輿祭りで物売り、熊野神社で灯笼づくり、夏休みのラジオ体操、ごみ拾い、夏祭りのソーラン節、議員に意見をいった、落ち葉拾いなどの美化活動)	
4	グループ	制服について、スカート(リボン)は女性でズボン(ネクタイ)が男性は差別ではないか	(1)条例をみんなにわかりやすく広める取組	生徒会経由でアピールするために、手伝ってもらう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの掲示板に貼る</li> <li>・生徒会に手伝ってもらう</li> <li>・家のポストに手紙を入れる</li> <li>・ポスターを目立つところに貼る</li> <li>・ビデオをつくる(大人向けのビデオも作る)</li> <li>・児童館と協力する</li> <li>・たま広報に掲載するのなら内容よりも回数を多く出す</li> </ul>
		多数決でいいのか(部活で意見が通らない)		児童館で動画を流す(大人にも見ってもらう)	
		個性のないブラック校則(ヘアゴム、2ブロック、靴下、スカートの長さ)		手紙を出す	
		部活をする・しないの権利		ポスターを目立つところに貼る	
		英語の先生が英語しかしゃべらない		マンションの掲示板に貼る	
		学校で無理やりやらせられることがある		読書時間を活用	
				たま広報は絶対見る→内容よりも回数が大事	

## ■若者の部

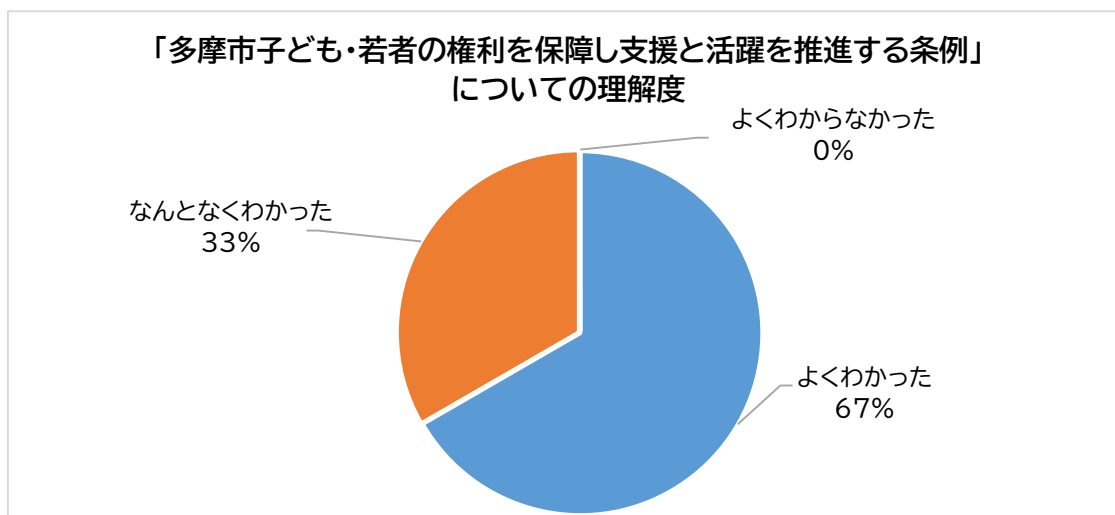
グループ		テーマ①「子ども・若者を支援し、挑戦や活躍を応援するため」への意見メモ	テーマ②「若者がまちづくりに参加したくなる・しやすくなるアイデア」への意見メモ	テーマ②(発表内容)
1	グループ	不登校・ひきこもり→おいしい給食、イベントをもっとたくさん	若者に参加してもらうには、2000人を抽出し、「30人先着」や「限定」とDMを送る。電車の広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい課「諸葛孔明課」をつくる→身近に諸葛孔明みたいに後押ししてくれる存在が学校に1人いると良い</li> <li>・やりたいことを自由に話せ、助言がもらえるようなワークショップを開催</li> <li>・「限定〇人」で呼び込む</li> <li>・電車などに広告を貼る</li> <li>・印刷物に使うイラストはフリー素材だけでなくおしゃれなデザイン活用し、目を引くようにする</li> <li>・若者が集まる場(カフェ等)でPR</li> </ul>
		児童虐待→1人で抱えない、受けている側も親側も	5人くらいの少人数の座談会・ワークショップ(ジャッジしない、やりたいことやれる、かたくない、楽しい会、NOT会議・委員会)	
		いじめ→語学を学びやすく	コミュニティにつながる(MARVELを語る会、本をつかったWS、歩道橋をみんなでめぐる、たきび、電動レンタサイクル、レンタルバイク、ツーリング会、芝生で映画、小型モビリティの導入、1万人のワールドカフェ、キャンプ・グランピングがしたい、和菓子屋をやりたい)	
		子どもの貧困→マルシェ農家と交流、子ども食堂のボランティアをやりやすくする		
		自殺者数増加→キャリアの支援相談		
		バスのアクセス増、乗り物支援、駅までの不便さを解消		
		癒し(猫や動物とふれあうことなど)		
		商店街に昔からいる癒しおばあちゃん(諸葛孔明)→身近すぎるとあつくらしいから中学校区に1人→諸葛孔明課をつくる(あなたに対しての情報を提供)		
2	グループ	経済的困窮を抱えている家庭の子どもを対象に無料塾をシャッター商店街につくる(最低限の料金をもらうため、少し営利活動になるが、公共施設を使いたい。または、中学生が小学生に教える)	KAOFESが復活してほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>(小・中学生は学校、親子は公園に集まりやすいことに着目)</li> <li>・小・中学生対象にまちづくりに関する絵のコンクールを開催</li> <li>・公園にいる親子が気軽に参加できるように、子ども食堂などで夏休みに流しぞうめんするなどのイベント開催</li> <li>・聖蹟桜ヶ丘の飲食店で広報を行う</li> </ul>
		子ども食堂を広める(ボランティアをする側も来る側も増えて、交流ができる)	小学生・中学生だったら学校でやれば集まりやすい	
		習い事支援	多摩市の好きなどころ→聖蹟桜ヶ丘、耳をすませば、多摩川、駅周辺、桜ヶ丘公園→駅周辺や公園は人が集まる人が集まりやすい公園とか使い、子ども食堂など関連したイベントを実施	
		24時間開いている居場所(掲示板の使用)	周りの飲食店のコラボ(フォロワーが多い)→SNS経由でも広がる	
		市と市民の中間団体がほしい	スポーツ大会を市が開催する(ドッジボール、野球、サッカー等)	
3	グループ	旅がしたい(自分の意思で世界を広げること)→一人旅支援	意見が気軽に出来る場(意見箱、駅に投票箱、相談員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生はやりたいことがあるけど、どうすれば実現できるか分からない。意見があるが意見を言う方法や場が思いつかない方が多いと思うので、意見箱の設置や相談員を設置したほうが良い</li> <li>・意見箱は気軽に寄れる学校や駅に設置したり、インターネットを介して意見を送れたら良い</li> <li>・意見箱に意見を入れたら文房具などがもらえるといった報酬があると良い</li> <li>・相談員は市内の人が集まる場所に2・3人にいると相談しやすいし、意見箱はハードルが高いが、相談員と1対1であれば意見が言いやすい</li> </ul>
		自由な時間がほしい	スマホ表明	
		バルテノン多摩などに自習スペース テストが多い→自習スペースがほしい、やらない、大人が手伝う	インタビュー形式	

グループ		テーマ①「子ども・若者を支援し、挑戦や活躍を応援するため」への意見メモ	テーマ②「若者がまちづくりに参加したくなる・しやすくなるアイデア」への意見メモ	テーマ②(発表内容)
4	グループ	(多摩市は)もっと市民目線に立ってほしい	人が集まらない→オフラインは良い・オンラインは気が楽	多摩市には子どもや高齢者などの居場所があるが、高校生～30代の若者世代の居場所がない。 市としての安全性が保障された公共の居場所があるといい。一人でふらっと寄れたり、他の若者や市のスタッフと話せる場があると今後の参考意見が聞けるのではないかな。そこから、新しい事業、イベントに発展していくのではないかな
			自宅以外の居場所(若者向け)→習慣性・信頼性・必要性・日常性のある場(時間を気にせずに入れる場)	
			児童館・公民館は小学生は行くが、中高生はいかない(受験で別れる、オンラインで集まる)	
			市から当事者にアプローチ(アニメーションを媒介に)	
			地域住民とのつながり→箱 OR システム	
5	グループ	市議会議員に20代議員枠を設ける(おじさんばかりで若者がいないイメージ)	大学の先生からの後押し	・インタビュー形式で道にいる人に意見をきく(SNSだと情報量が多いが、距離感が遠いため質が低い。一方、インタビュー形式だと量は多くないが、距離が近いので質が高い。怪しまれないように、男・女半々のグループでインタビューをする) ・多摩市議員に20代の枠増加(若者が興味を持つきっかけになる) ・都市農業を推進する(団地が老朽・空き家になってきているのでそこに畑を耕し、自然と都市が融合して良いまちづくりに繋がるのではないかな)
		留学しやすい環境・支援	たま広報	
		習い事支援(多摩市内に習い事のブースをつくる)	みんなにお茶をふるまう	
		都市農業の進出、パルテノン多摩での農業支援	2,3人の男女ペアになって道を歩いている人にインタビュー(意見が言いやすい、若者会議の認知)	
		学生の学びへの支援(自分の好きなことをテーマに)		
		子どもの体験機会の増加		
		スポーツができるように支援		
6	グループ	留学生が資格を取りやすい制度	和紙や日本酒の瓶の再利用でランタンフェスをパルテノン多摩の階段や橋の上で開催	・留学生や若者が交流する場がない。 ・多摩市に多くある空き商店街や公園を活用して音楽フェスやランタンづくりをしたい。通路では出店を展開 ・SNSでイベントを発信し、人を集める ・自習スペース、多摩市のことを学べる場所を設置する ・初対面の人と話せる機会をつくる(イベントに参加している若者に声をかけてワークショップに誘う) ・大学のサークルに呼びかけ人を集める
		段差の解消(バリアフリー化)	音楽フェス、祭り、イベント、キャンプ、登山、川沿いでサウナ、一眼レフで山頂コンクール	
			初対面の方が幅広く話せる(知っている人だと気を遣う、話が偏る)	
			ワークショップ等のイベントで集まった人をつなげる、イベント開始前に軽くワークショップを行う	
			他大学合同のサークルを利用	
			SNS(映えを意識したもの、一般人を巻き込んだ屋台等)	
			対面で年齢層が幅広い方がいい	

## 4.参加者アンケート結果

### 4.1 子どもの部（標本数 N=12 人）

#### 1. 「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」についての理解度



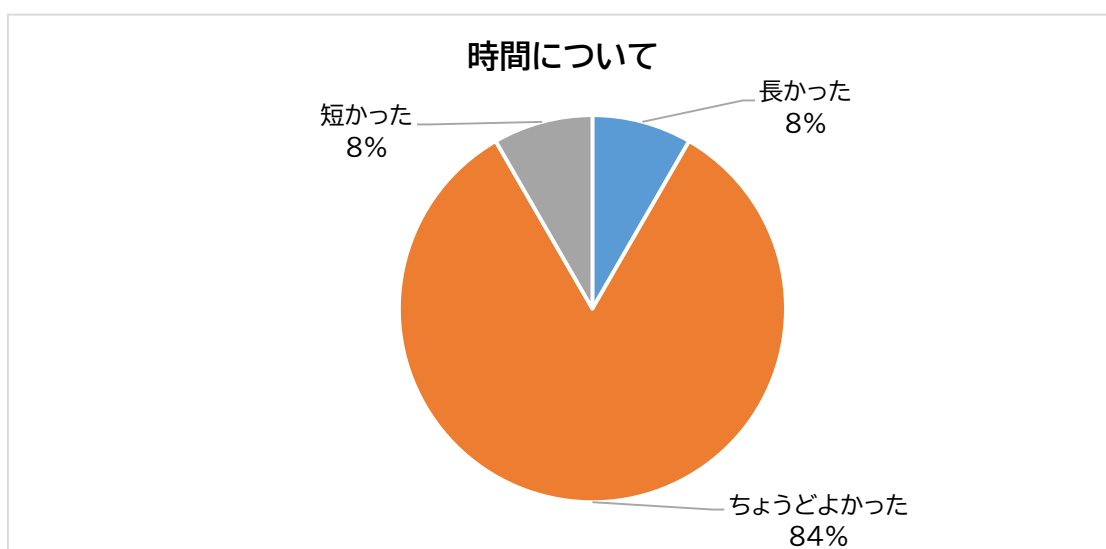
#### 【回答傾向】

理解度については、「よくわかった」が 67%、「なんとなくわかった」が 33%となっています。

#### 2. 今回のワークショップについて

回答した全ての参加者が「おもしろかった」と回答しました。

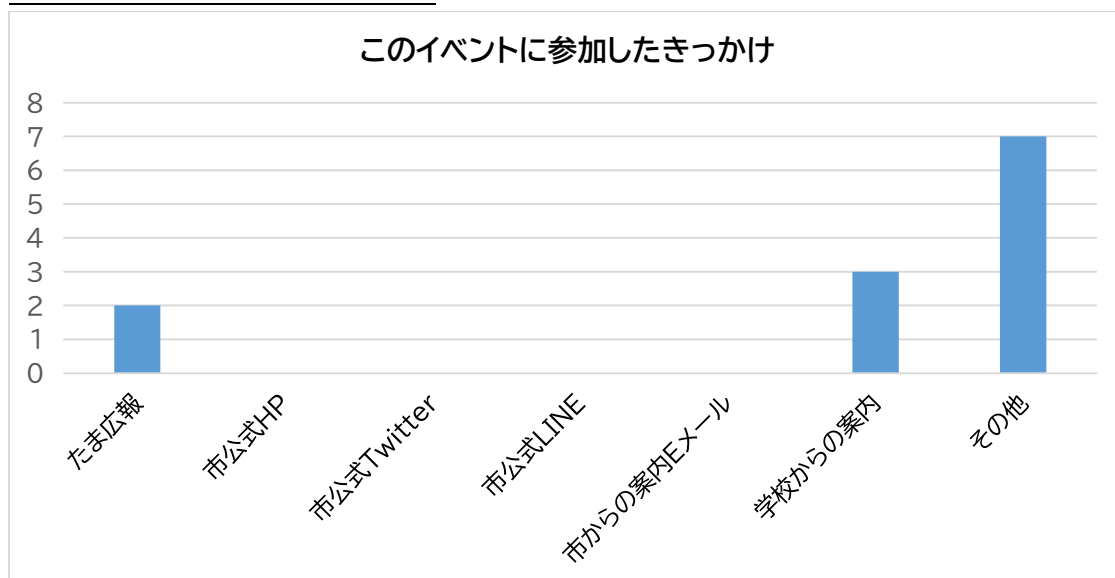
#### 3. 時間について



#### 【回答傾向】

時間について、「ちょうどよかった」が 84%と最も多く、次いで「短かった」「長かった」が 8%となっています。

#### 4. このイベントに参加したきっかけ



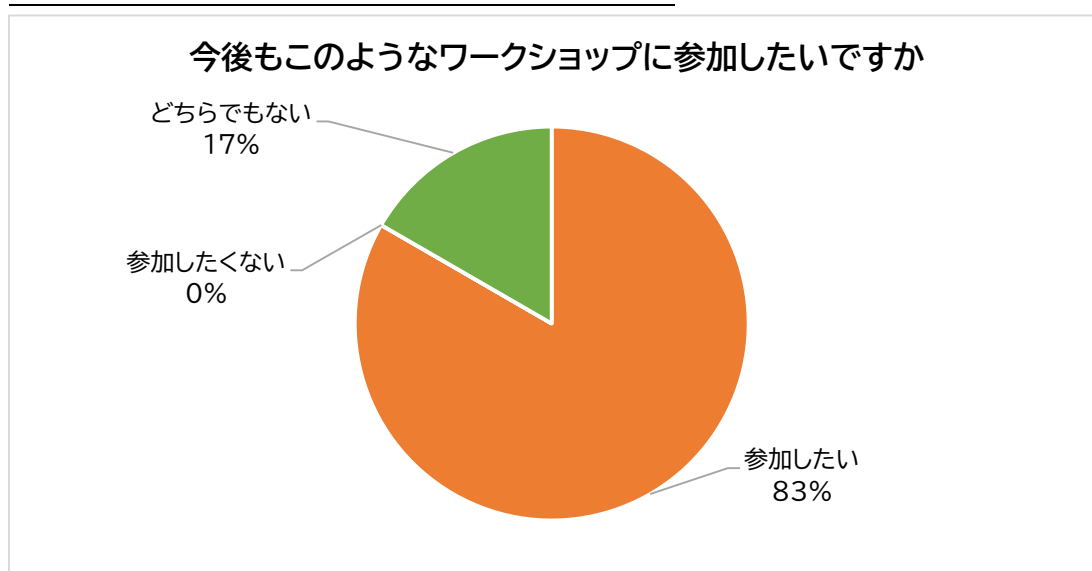
##### 〈「その他」と回答した内訳〉

- ・親(父・母)からの紹介…3件
- ・友達の母親からの紹介…1件
- ・友達からの紹介…3件

##### 【回答傾向】

参加したきっかけについては、「その他」(親や友人からの紹介で参加した方)が7件(58%)と最も多く、次いで「学校からの案内」3件(25%)となっています。

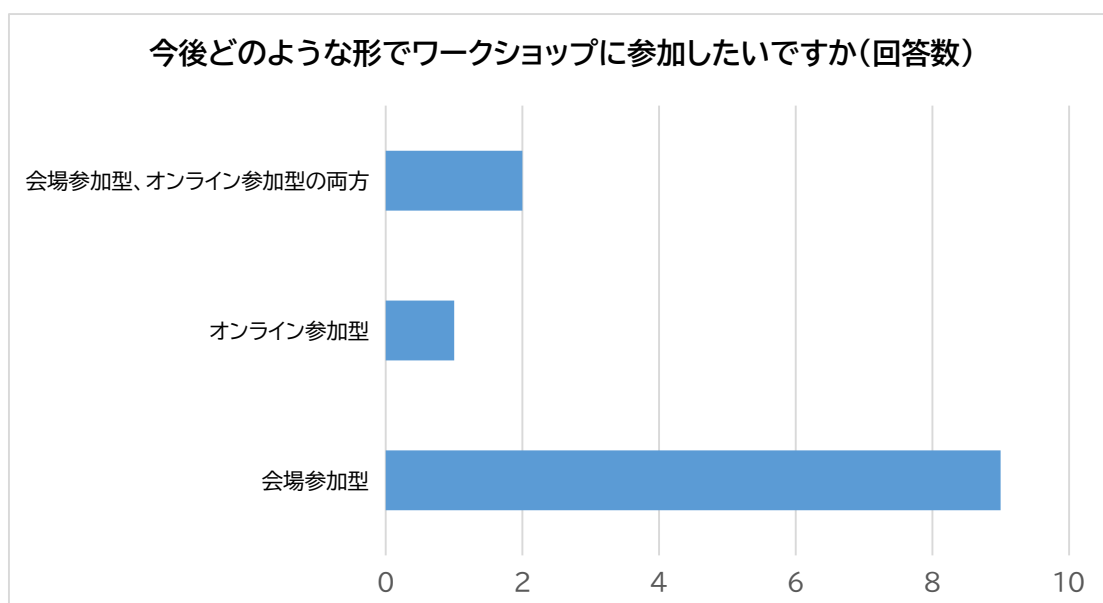
#### 5. 今後もこのようなワークショップに参加したいですか



##### 【回答傾向】

次回の参加について、「参加したい」が83%、「どちらでもない」が17%となっています。

#### 6. 今後どのような形でワークショップに参加したいですか



##### 【回答傾向】

ワークショップの参加方法については、「会場参加型」が9件(75%)と最も多く、次いで「会場参加型・オンライン参加型の両方」2件(17%)となっており、オンラインなどの非対面式よりも対面した方が良いと考える方が多いことが分かります。

#### 7. 今後みんなで考えてみたいテーマがあれば自由にご記入ください

##### 【意見一覧】

- ・SDGsについて
- ・清掃活動について
- ・公園
- ・ブラック校則

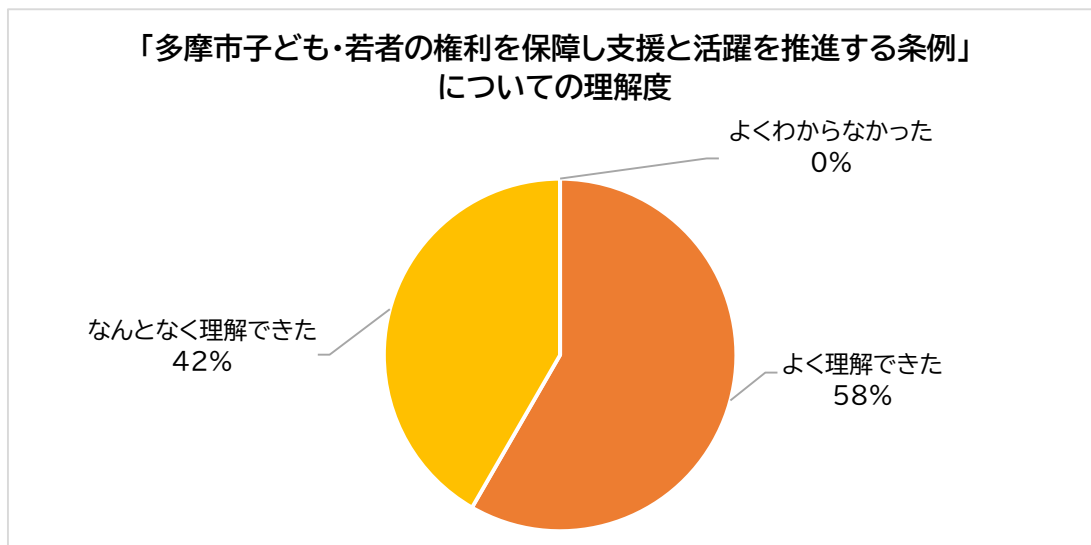
#### 8. 感想やご意見等があれば自由にご記入ください

##### 【意見一覧】

- ・楽しく話し合えてきて良かったです。ありがとうございました。
  - ・日本(多摩市)もいつか北欧に近づく日は来るのか。
  - ・会ったことない人と話してみて「あ!こういう考えもあるんだ」ということがあり、とてもおもしろかったです。
  - ・学習の一環として有益なものとなった
- その他、「楽しかった」という意見が2件ありました。

## 4.2 若者の部（標本数 N=12 人）

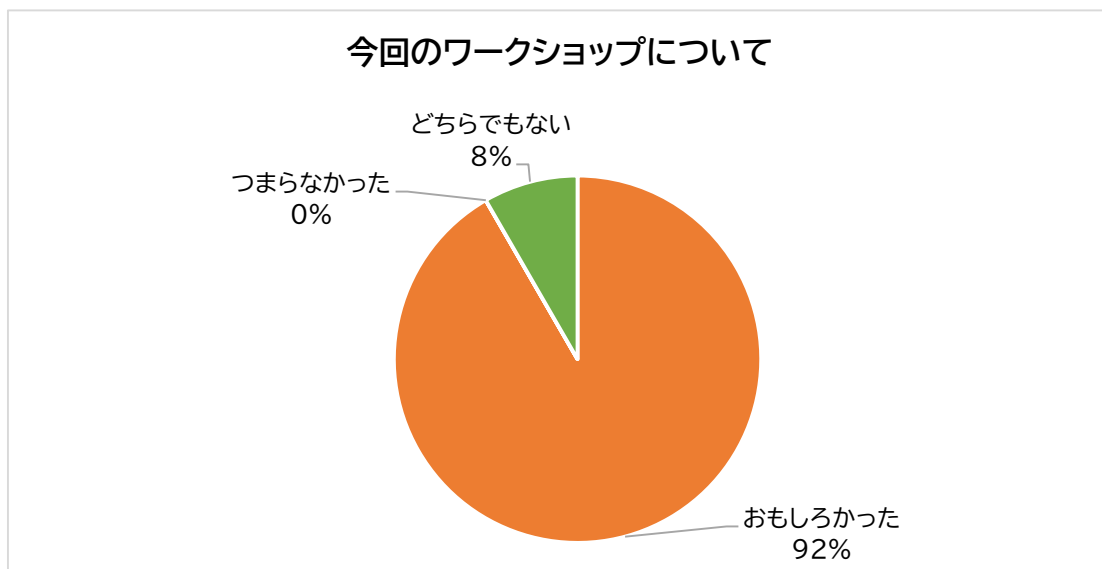
### 1. 「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」についての理解度



#### 【回答傾向】

理解度については、「よくわかった」が 58%、「なんとなくわかった」が 42%となっています。

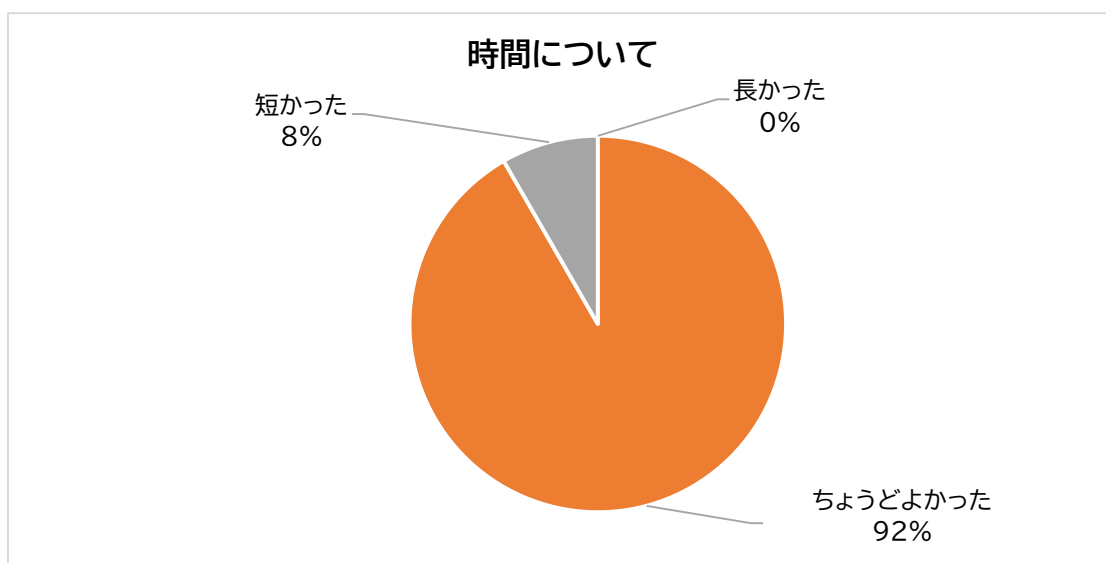
### 2. 今回のワークショップについて



#### 【回答傾向】

ワークショップへの参加に対しての満足度は、「おもしろかった」が 92%、「どちらでもない」が 8%となっています。

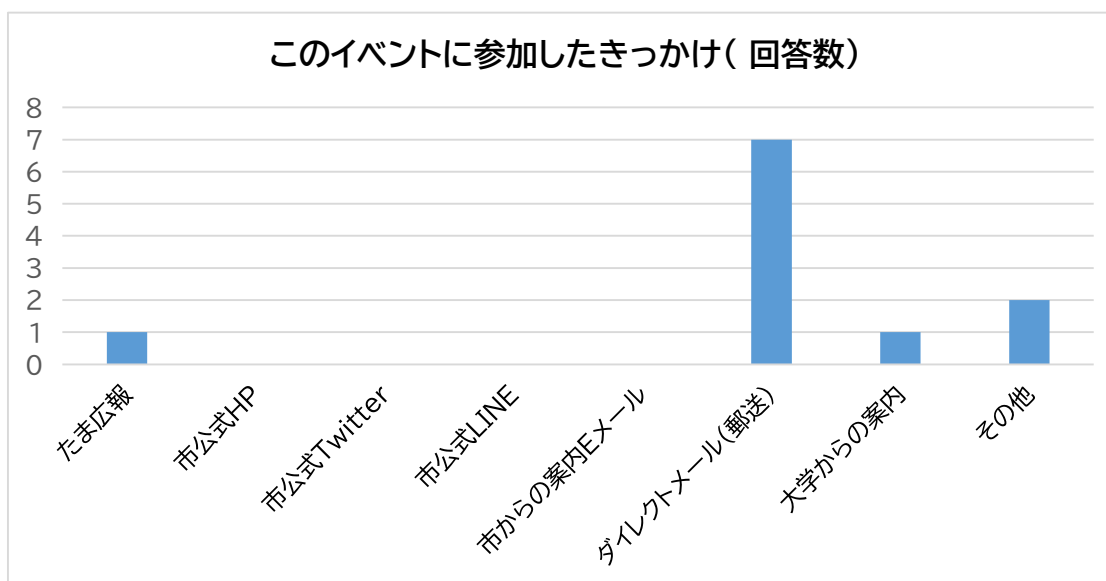
### 3. 時間について



#### 【回答傾向】

時間について、「ちょうどよかった」が92%と最も多く、次いで「短かった」が8%となっています。

### 4. このイベントに参加したきっかけ



#### 〈「その他」と回答した内訳〉

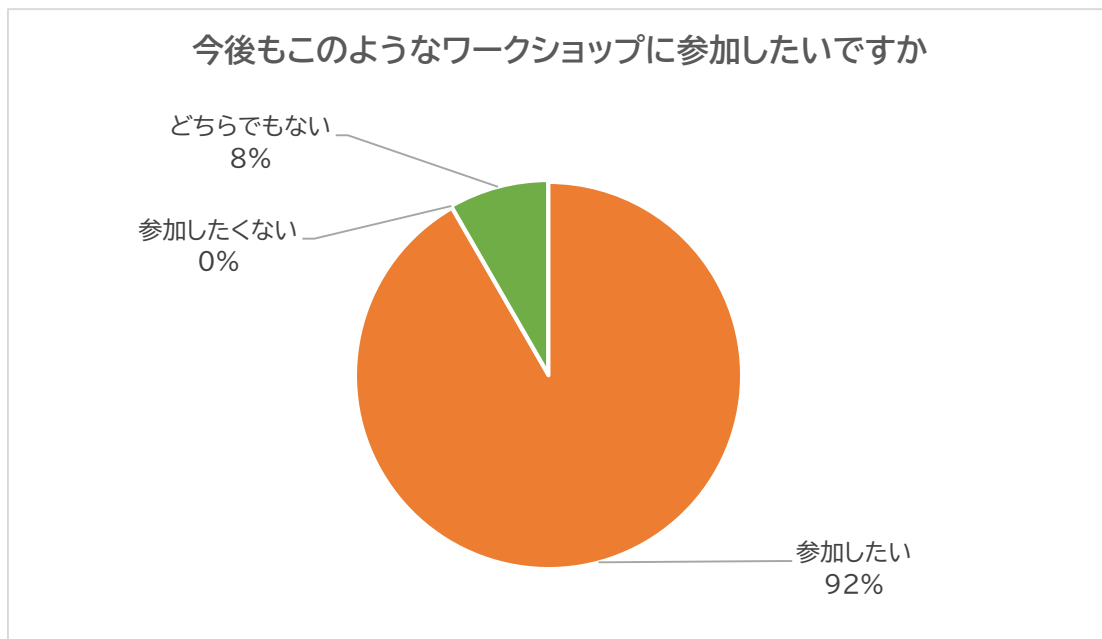
- ・若者会議メンバーで参加したかったから…1件
- ・知人からの紹介…1件

#### 【回答傾向】

参加したきっかけについては、「ダイレクトメール(郵送)」が7件(58%)と最も多く、次いで「その他」2件(16%)となっています。



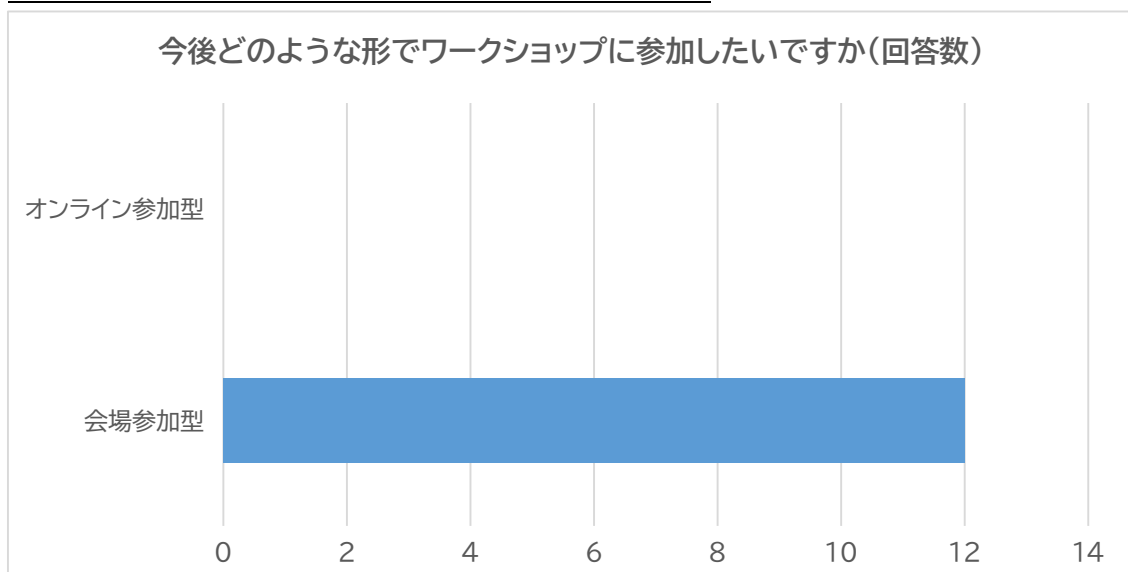
#### 5. 今後もこのようなワークショップに参加したいですか



##### 【回答傾向】

次回の参加について、「参加したい」が92%、「どちらでもない」が8%となっています。

#### 6. 今後どのような形でワークショップに参加したいですか



##### 【回答傾向】

ワークショップの参加方法については、回答者全員が「会場参加型」と回答したことから、オンラインなどの非対面式よりも対面した方が良いと考える方が多いことが分かります。

7. 今後みんなで考えてみたいテーマがあれば自由にご記入ください

【意見一覧】

- ・若者と市議、市長との話す機会があると良いと思います。
- ・小型モビリティ活用、電動バイクシェアなど
- ・もうちょっと課題の深堀ができるとより意味が有る会だと思う。
- ・中高生と若者(～30代)が考えることの差
- ・多摩市の自然、歴史について
- ・信頼関係を構築するには
- ・長い付き合いになる人との適切な距離感とは
- ・多摩市のスポーツ推進活動について
- ・多摩市のいいところ
- ・多摩市の子育て支援について

8. 感想やご意見等があれば自由にご記入ください

【意見一覧】

- ・いらすとやの一つの資料あたりの使用限界数は20点だったと思います。有料の範囲になってしまっている資料が見受けられたので恐縮ながら指摘します。本日はお疲れさまでした。有意義な時間でした。  
(※フリー素材サイト「いらすとや」の利用規定にて、商用利用でない場合には21点以上の素材を使用可能であることを確認しています(市)。)
- ・他の多摩市民の意見を知る機会がないので楽しかったです。
- ・このような場を作っていただきありがとうございました！
- ・初対面での交流で、2時間という時間がちょうど良かったです。また、同年代と意見を交流する場を設けて頂けたら嬉しいです。
- ・ワークショップに参加することで、自分の考えを伝えられる場があることはとても大事な時間だと思いました。また、同世代の方が若者会議に関わっている姿を見て、自分も多摩市に何か貢献したいと思いました。次回もあれば、参加したいと思います。有難うございました。
- ・多摩市を盛り上げたり、もっと良くしようと動いている方がこんなにたくさんいることを初めて知れました。またこのようなイベントに参加したいと思いました。
- ・異なる年齢層の方と意見を交わすことで、異なる視点からの幅広い意見を聞くことが出来ました。ワールドカフェというリラックスした雰囲気の議論形態のおかげで、積極的に議論に参加できました。また参加したいと思えるイベントでした。ありがとうございました。